



J R 茨木駅前商店街 あした会議

VOL. 05

の開催報告

令和8年2月

第5回 開催概要

日時：2026年 1月20日（火）15:00～16:00
会場：brick
参加者数：4人

プログラム

- 1：みちクル社会実験の結果報告について
- 2：ナイトバルのふりかえり（意見交換）

参加店舗

- ・すまいの相談室 本谷不動産
- ・BAR TANAHASHI
- ・café & bar brick
- ・Ja Polocoハポロコ

1. みちクル社会実験2025の概要

■取組概要

- ・2コア1パーク&モールにおける東西軸（中央通り・東西通り）を滞在や活動したくなる魅力的なメインストリートにしていくための取組です。
- ・「みちクルプロジェクト」として、継続的な社会実験を行い、東西軸ストリートデザインガイドライン（R5年度策定）による景観形成を推進していきます。
- ・まずは、**中央通り側道空間の再編（歩行者・自転車中心に転換）**に向け、**今年度の社会実験を実施しました。**

中央通りの将来像(2040年頃を目標)



茨木市東西軸ストリートデザインガイドラインより

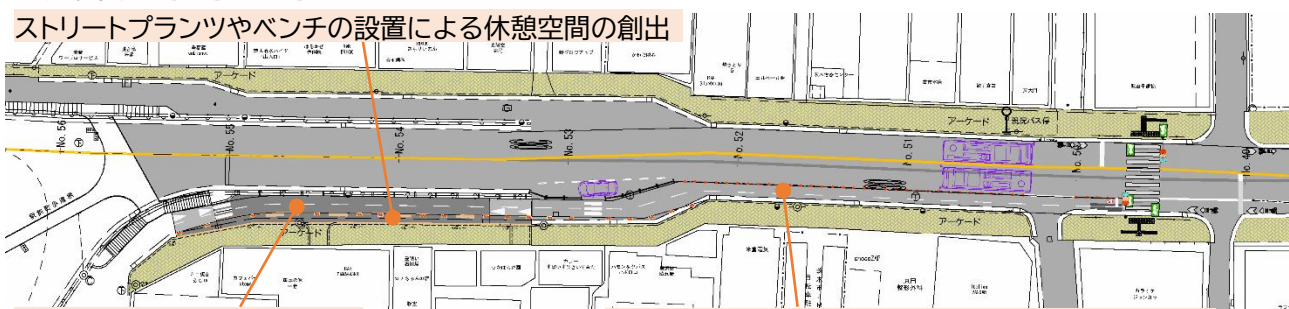
■社会実験の概要

- ・日時：10月17日～11月3日（18日間）
- ・平日は歩行者や自転車を対象に安全・快適な通行といった交通面の検証を行いました。
- ・金曜・土曜の夜は商店街の実行委員会によるナイトバルを開催し、道路空間利活用の可能性を検証しました。



社会実験期間中の空間

ストリートプランツやベンチの設置による休憩空間の創出



仮舗装による空間の一面化

自転車だけの空間確保による歩行者と自転車の分離

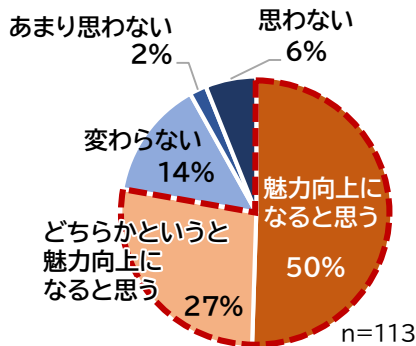
社会実験の検証結果詳細は、裏面をご覧ください

2. 社会実験の検証結果

社会実験中に歩行者と自転車利用者を対象に実施したアンケート調査と交通量調査の結果です。

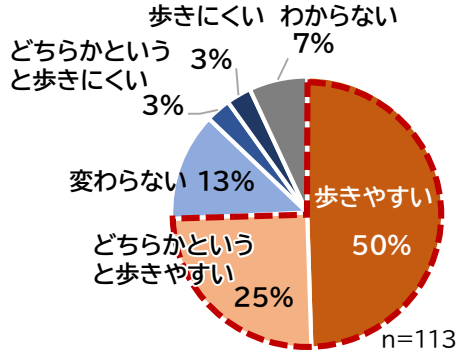
検証項目①：歩行者が安全・快適に通行できるか？

Q ひと中心の道路空間は地域の魅力向上に思いますか？



約8割の人が魅力向上に繋がると回答
⇒ 取組や方向性に**概ね理解**

Q 歩道と自転車を分けた空間は歩きやすいと思いましたか？



歩行者と自転車の分離に約7割が高評価
⇒ 「ひと中心の空間」への**手段として有効**

※社会実験中に歩行者と自転車利用者を対象に実施したアンケート調査の結果です。

実験中に見られた景色



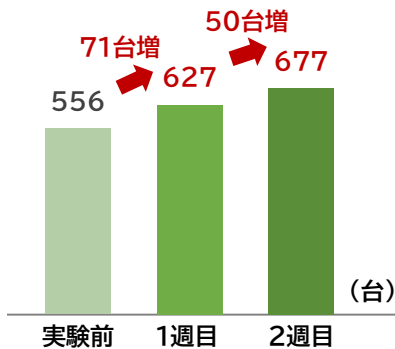
会話を楽しみながら、おにクル方面からベビーカーを並んで押し歩く姿も見られました。



立命館大学の学生が制作したストリートファニチャーを利用する姿も見られました。

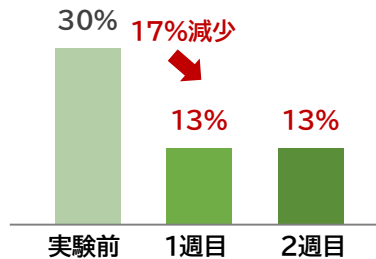
検証項目②：自転車「だけ」が通る空間は必要か？

自転車交通量の変化



自転車利用者の誘導に成功
⇒ 多くの人が**空間を好評価**

歩道を自転車が走った割合



歩道を走る自転車が減少
⇒ 歩道上の**混在が緩和**

※社会実験中の交通量調査のうち、6時～9時、11時～14時、16時～19時の交通量を合計した値です。

実験中に見られた景色



通勤・通学時間帯には多くの自転車利用者に自転車道を利用してもらいました。



自転車のすれ違いもスムーズにでき、快適に走行する姿が多く見られました。

検証項目③：道路は通りすぎるだけのものか？

JR駅前商店街の実行委員会と連携して実施したナイトバルにおいて、来訪者にヒアリングを実施しました。合計33組・約60件の意見や感想をいただきました。

ナイトバル への意見

・このイベントがずっと続いて欲しい！！
・夜空の下で飲むビールは最高です。
・外でみんなでワイワイ過ごせることが良かった。

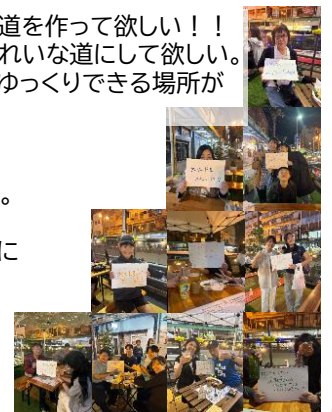
道路空間 への意見

・人が歩きやすい道を作って欲しい！！
・渋滞の少ないきれいな道にして欲しい。
・子どもと一緒にゆっくりできる場所があるといいな。

商店街 への意見

・魅力的なお店が沢山あることを知るきっかけになった。
・アーケードをきれいに！！
・にぎやかになって居酒屋さんのはしごができるくらいになるといいな。

道路空間の再編に向けた機運も
徐々に**高まりつつあります。**

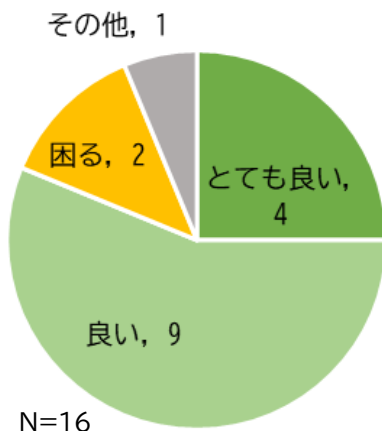


3. ナイトバルのふりかえり

社会実験後に商店会の皆さんに回答いただいたアンケートの結果です。

社会実験・側道空間の再編への意見

Q 将来的に、側道が歩行者と自転車の空間に整備されることをどう思いますか？



“とても良い、良い”の理由

交通安全

- ・ 自転車通行のマナーが悪いから
- ・ 歩行者が安全に通れる
- ・ 高齢者でも歩きやすい
- ・ 狭い側道での自転車と車の接触が危険だから

まちづくり

- ・ ひと中心のまちづくりが1番だと思ふ
- ・ まちづくりには欠かせない
- ・ 課題はあるが理想的なまちづくりの一步

“困る”の理由

- ・ 荷物の配送が多いため不便だから
- ・ 年配のお客様の送迎が多く、車が通れないと困る

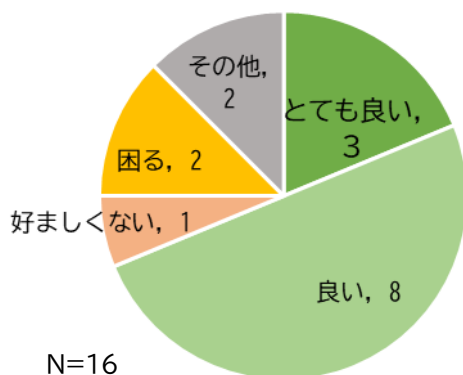
ナイトバルへの意見

ナイトバルは、用意した座席(約70席)が満席になり、大盛況でした。家族と一緒に訪れる人や犬の散歩途中に立ち寄る人など、それぞれの楽しみ方で社会実験の夜が大いににぎわいました。

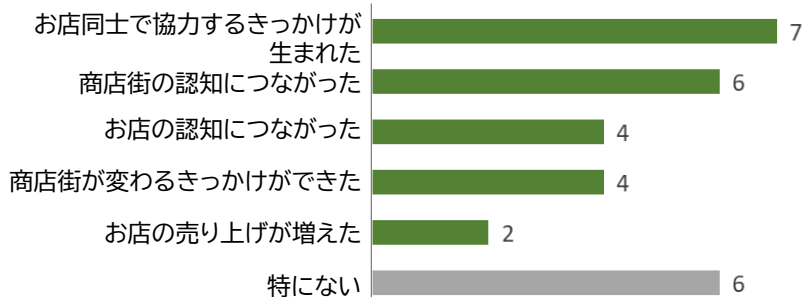


ナイトバルのロゴは、
実行委員会でデザインしました！

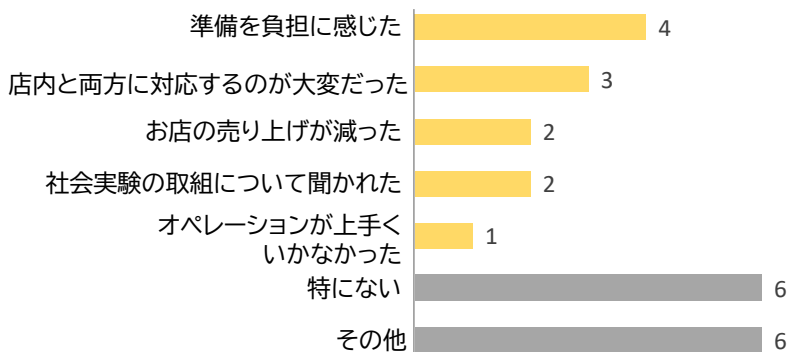
Q ナイトバルの開催について、
どのように感じましたか？



良かったこと



困ったこと



・ ナイトバルは、11店舗が参加し、テイクアウトメニューを提供してくれました。

・ メニューの提供以外にも、告知や営業時間の変更など、様々な形での協力が、ナイトバルの成功につながりました。

4. 意見交換

あした会議で出た意見

～ 道路空間への意見 ～

- ・ 自転車と歩行者が分離されたことは良かった。
- ・ ごみの回収や配達などの業者さんの車が大変そうだった。
- ・ 道路の乱横断が危なかった。事故のない安全なイベントにしたい。
- ・ JRを抜ける自転車の正しいルートがわからない。
- ・ 何のために社会実験をしているのか、もっとわかりやすく伝えてほしい。

➡ **側道部の空間再編に向けて、行政側で継続して検討**



～ ナイトバルへの意見 ～

- ・ まずは第1回目のナイトバルで成功体験を持てた。
- ・ ビールが予想より多く出て、売り上げが上がった！
- ・ ナイトバルは良いと思うけど、当日参加するだけじゃなくて準備から関わってほしい。
- ・ 当日だけ参加の人もいたけど、関わりたいと思う人が増えるならナイトバルをやる意味もあるのかなと思う。
- ・ 飲食関係のお店だけでも集まって、顔が見える関係になればいいな。
- ・ まずはLINEグループをつくりたい。

➡ **商店街を盛り上げるため、商店街中心で継続して検討**

次年度に向けて

- ・ 今年度のみちクル社会実験の結果を踏まえ、令和8年度は北側の側道で交通面の社会実験の実施を検討しています。
- ・ また、道路空間の利活用については、商店会と連携し、機運醸成に向けた取組(ナイトバル等)について検討を継続していきます。

将来イメージ



これまでの取組や社会実験の結果は、こちらに掲載しています。
ぜひご覧ください！



【連絡先】

茨木市 都市整備部 都市政策課

TEL:072-620-1660 mail:toshi@city.ibaraki.lg.jp

担当：佐野、大西